

創立 1980年10月8日



ROTARY CLUB OF SAKAI NORTH

第2640地区 堺北ロータリークラブ週報

事務所 〒590-0024 堺市堺区向陵中町2丁5-10 杉本ビル5-B・Tel:(072)255-1200 番

例会日 毎週金曜日 午後0時30分

例会場 PANTARON Tel:(072)228-3988 番 (魚太郎直通電話)

URL : <http://www.sakai-kita.jp/>

E-mail : snrc@jasmine.ocn.ne.jp

ガバナー(第2640地区) 辻 秀和 (ツジ ヒデカズ)

ガバナー事務所 URL : <http://www.rid2640g.org/tsuji/>

E-mail : tsuji2014-d2640@ivy.ocn.ne.jp

会長：山ノ内修一 幹事：塩見 守 広報委員長：坂田兼則 編集者：藤永 誉

四つのテスト 言行はこれに照らしてから 1.真実かどうか 2.みんなに公平か 3.好意と友情を深めるか 4.みんなのためになるかどうか

本日の例会

2014年11月28日(金)第1640回

卓話 「テーブル会議」

今週の歌「R-O-T-A-R-Y」

「ともしび」

お客様の紹介

出席報告 会長の時間

委員会報告・幹事報告・SAA報告

次回の例会

2014年12月5日(金)第1641回

卓話 「われらがマチのちんちん電車
～岸谷勢蔵が描く堺の姿から～」

卓話者 堺市交通政策課 堺市史研究会

会員 井溪 明様

紹介者 堀畑 好秀 会員

前回の例会

2014年11月21日(金)第1639回

卓話 「私の履歴書」
卓話者 笹山 悦夫 会員
今週の歌「四つのテスト」
「堺北RCの歌」
「あの素晴らしい愛をもう一度」

お客様の紹介
出席報告 会長の時間
委員会報告・幹事報告・SAA報告
○皆出席表彰(11月度)
池田茂雄 会員(第32回)

<11月21日(金)の出席報告>	
会員数	33名
出席会員	19名
欠席会員	14名
ビジター	0名
ゲスト	0名
10月10日(金)の出席率	81.82%

今週の歌

「ともしび」

夜霧の彼方へ 別れを告げ
雄々しきますらを いでてゆく
窓辺にまたたく灯に
つきせぬ乙女の 愛の影



2014-15年度 国際ロータリーのテーマ
「ロータリーに輝きを」
Light Up Rotary
国際ロータリー会長 ゲイリーC.K.ホアン (台湾・台北RC)

卓 話

「私の履歴書」

笹山 悦夫 会員



1. 少年時代

家族

昭和 27 年 6 月 25 日、私は再婚同士の両親の 5 人兄弟姉妹の末っ子として生まれました。両親はそれぞれに連れ子があり、私が、再婚した両親の唯一の実子でした。

父は公務員で 43 歳、母が 37 歳の時の子で、すぐ上の兄と 9 歳、一番年上の姉とは 15 歳の差がありましたので、とても可愛がられ、大事にされてきたと思います。

他の兄弟姉妹から見れば、両親の愛情を一身に受け、あまり苦労することなく、自由奔放にわがままに育ったといえます。家族は表面上大変仲良かったのですが、両親は相当苦労したのではと思います。それは両親がなくなってから、その苦労がだんだんと分かってくるようになりました。

私が 32 歳の時父が、48 歳の時に母が亡くなっています。この齢になって、一番反省し、強い自責の念となっているのが、私を生み育ててくれた両親への感謝に対して、心配ばかりかけただけで、何の親孝行もできなかったことです。

郷里の白浜

私の出身は、和歌山県の白浜です。白浜温泉は、三大温泉地として有名で、当時新婚旅行のメッカとしてとても活気がありました。一方で、有名な三段壁は自殺の名所で、小さいころから手をひもでつなぎ合った男女の水死体を見ることもよくありました。

少年時代は海とスポーツに熱中しました。

当時、白良浜はもっと広く、遠浅でした。あちこちに温泉も湧き出ているので、砂を掘れば即席で露天風呂ができました。海で冷えた体をよく温めました。台風が近づくと大波になるので、板切れをもって嬉々として波乗りに行ったものです。また、小学校の体育の授業では、1 キロ沖合の離島まで往復 2 キロの遠泳もありました。夏は海に潜り、アワビやトコブシ（ナガレコ）を取って、それが家族の夕食のおかずになったときは、「自分も家族を支えている一員だ」と、家族の役に立っていることをとても誇らしく感じたことを子供心に覚えています。

スポーツは、東京オリンピックの影響もあって小中高校と陸上部で走高跳をしていました。高校 1 年生の時、たまたま和歌山県総合体育大会で優勝したことがありました。その時は学校でも一躍有名になり、女の子にもとても持てたこともありました。今はだめですけど。とにかく当時「スポ根」全盛時代で、強化選手にも選ばれ、朝から晩までただひたすら自分の体を痛めつけることに熱中していたように思います。その後、インターハイ（全国大会）にも出場しましたが、レベルの高さに圧倒され見事に予選落ちとなりました。今から思えば、身体だけをいくら鍛えても、高い志と目標を持ち、それを支える高い精神力を養えなければ、身体だけをいくら

鍛えても、次の高みには登れないことを思い知らされました。その後は、水が低きに流れる如く、専ら異性に関心を持つ高校生活となりました。

2. 大学時代

そんな訳で、浪人生活をした後、明確な目的もなく大学に入学することになりました。当時、ベトナム戦争まっただ中で大学も騒然とした雰囲気の中で、必然的に学生運動の影響を強く受けることになりました。

学生生活は、授業よりも集会やデモが日課のような日々が続きました。機動隊とも渡り合ったりしましたが、幸いにも高校時代に鍛えた足の速さで逮捕されるようなことは一度もありませんでした。しかし、過激派同士の凄惨な内ゲバに遭遇し、路上に残された学生の死体を見た時のショックは大きく、「何か間違っている。」、何も手がつかないボー然と日々を過ごしたことを忘れることができません。

結局、社会や体制が悪いともっぱら他者を攻撃するばかりで、自分自身を反省することができず、空理空論が多く、意見が対立すると安直に暴力に訴えるという考え方にやはり馴染めなかったのだと思います。

3. 社会人となって

そのまま大学を卒業し、大阪の船舶会社に就職したものの仕事に身が入らず1年余りで退職しました。その後、2、3社を転々とする生活が続きました。何をやっても心が定まらず、身を打ち込むことができないのです。私にとって「精神的な放浪」ともいうべき暗いトンネルのような時期でした。妻に支えられ、最も迷惑をかけたときでした。

この時期、心身の不摂生がたたり突然「喘息」を発症しました。発作が起こったときの呼吸困難となる苦しみは死の淵を垣間見る思いです。当時の体重が85キログラムの肥満体で、肉食中心の生活でした。どこの病院に行っても現代医療では根本的な治療はありませんでした。

絶望の日々が続くそんな時、ある友人が玄米菜食を勧めてくれ、藁をも掴む思いで始めました。1日お茶碗1杯の玄米と野菜、少々の魚だけの生活が始まりました。2週間ほどは苦しかったですが、その後は身体がドンドン軽くなり、気力が充実し、朝が待ち遠しいほどに朝の目覚めが最高の爽快感でした。結局、3カ月程で17キロ痩せ、85キロから68キロまで激減しました。それと共に、玄米菜食を始めて1か月程経過した頃には喘息は完全に治まり、それ以降もう喘息に苦しむようなことはなくなりました。私が喘息で学んだことは、健康でいるためには食事は野菜を主にしてバランスを取ること、自制して適量に抑えることです。

4. 働くこと、感謝すること

私は結局、定職ともいうべき仕事に就けたのは45歳の時の保険代理店の開業でした。そこで15年間地を這うような営業活動を経験し、保険の知識と事故処理の実務を学ぶことができました。そして、その経験を基に現在の行政書士として開業できたのは56歳の時です。仕事としては、やはり遅咲きといわざるを得ません。研修会や勉強会に参加しても、気が付くと私が一番年長者であることがよくあります。しかし、今はまだ経営上の余裕はないですが、仕事が楽しく、日々充実感をもって仕事に取り組むことができるのはいまだかつてありませんでした。定年退職してい

る同級生の多くが時間を持て余して日々過ごしている中で、世の人々に求められて老いてますます仕事に没頭して働けるという境遇に本当に感謝せざるを得ません。今まで、他にのみ責任を求める不平不満の多い生活、いってみれば、何事も「当然」と思う感覚しかなかった傲慢で不遜な生活をしていた私にとって、この感謝という平凡な言葉が、とても新鮮で強烈なものでした。

例えば、感謝の気持ちを持つと、まず、「ありがとう」という言葉が多くなり、不平不満の言葉が少なくなって気分が清々しく、いつも明るく朗らかになってきます。また、感謝の心は、物の価値を一段と高めるように思います。当然ではなく有難いと思えば、それだけで食べ物も不思議と美味しくなり、受けるサービスも一段と気持ちよく貴いものになります。そして、感謝の心には、無限の活力が湧いてきます。

「箱根山、駕籠に乗る人、担ぐ人、そのまた草鞋を作る人」という古い言葉があるように、自然の恵みや人々の恩によって自分は生きている、自分の仕事は世の中からさせてもらっている世の中の仕事でもあるんだと気付くようになり、その恩に感謝し少しでも報いたいという気持ちが不思議と湧いてきます。働くということは、食べていくための単なる手段だけではなく、人間はどんな身分になっても健康である限り働かなくてはならないようにできているように思います。私には、働くことは人間として生まれた者に与えられた大きな恩恵であり、慈悲だとも思えてなりません。それを気づかせてくれたのが「感謝」という言葉であり、ロータリーとの出会いであったと思います。

自分の仕事は、世の中の仕事という思いを忘れずに、ロータリアンとして少しでも地域社会に役立つよう大先輩に学びながら、一層研鑽を積んでいきたいと思っています。

会長の時間

「ご報告あれこれ」

会長 山ノ内修一



今日は、バラバラの話を四つ。

1. おおいずみロータリー

クラブ様より、30周年記念式典参加に対する礼状が届きました。式典のあと東北（陸前高田）への記念旅行もされたとのことで盛大な記念行事だったと思います。

2. 中川会員のお世話でセットされたシェラト

ン都ホテルでの「忘年家族会試食会」に徳田親睦委員長さんをはじめ親睦委員の皆様に行かせてもらいました。

「チャイニーズ・フレンチ」という聞きなれない料理形式でした。出てきた料理を見ると、チャイニーズ（中華料理）をフレンチ様式で出すというもの。見た目もきれいでしたし、味もなんともいえない上品さで、これはうける！特に女性陣にうけること間違いなし！という印象を持ちました。



まだ参加を決めかねている奥様や家族をお持ちの方はぜひ勧めていただきたいと思います。料理については後悔させないでしょう。

3. 「第4回 囲碁フェスタ堺」がいよいよ明後日に迫りました。囲碁フェスタ関係者の皆さんには当日いろいろお手数かけますが、よろしくお願いします。

4. 地区よりクラブ会長会議召集の案内が届きました。12月20日(土)に開催されます。議案は「地区予算案・ファンド額について」です。多分、この会長会議で予算案は承認されるでしょう。2年続けて地区予算案が否決されるという異常事態は避けられそうです。

委員会報告

囲碁フェスタ実行委員会

「第4回子ども囲碁フェスタ・堺」

囲碁フェスタ大会実行委員会

委員長 宇瀬治夫

広報委員 池田茂雄



2014年11月23日(日)、JR堺市駅前の堺市立勤労者総合福祉センター(サンスクエア堺)で、「第4回 子ども囲碁フェスタ・堺」が、堺北ロータリークラブ主催、堺市教育委員会、堺市子ども会育成協議会、日本棋院の後援で盛大に開催されました。

「参加対象者は小学生・参加費は無料・囲碁を知らなくてもだいじょうぶ・みんなで囲碁を楽しもう」のキャッチフレーズで、広報サカイへの掲載、市内公共施設へのポスター掲示、当クラブ「ホームページ」や当クラブ「子ども囲碁フェスタ・堺」ホームページへの掲載などで広報に努めました。その結果、参加小学生73人に同伴保護者、来賓、大会関係者を含めて約200人の集まりとなりました。年に1回の開催で、今回は4回目となり周辺小学校でも話題になり、常連参加者が2割くらいとなるなど回を重ねるごとに充実した内容となってきております。又、初回時には、参加児童が160人あまりとなり混雑し大変でしたが、適度の人数となりやり易くなりました。



午後1時からの開会式では、山ノ内会長の歓迎の挨拶、来賓の木村正明 堺市教育委員会教育長の挨拶につづき、当クラブ会員で日本棋院所属プロ棋士の山田規三生九段が、「囲碁はやり始めの頃は楽しく覚えるのが一番・強くなると創造力や決断力が芽生え自然と我慢することや落ち着いて考えることが身につく・囲碁を通して多くの人と交流が深まり・礼儀作法やマナーが身につく・これからの学業や社会生活にそれらのことを生かしていただければ大変嬉しく思います。」との挨拶がありました。

いよいよ本番です。参加者の自己申告による棋力データを基に、「囲碁入門教室・40人」、子ども名人戦では、「Aクラス・8人」、「Bクラス・12人」、「Cクラス・13人」の4部門に分かれて参加小学生73人が各会場に移動しました。

初心者対象の「囲碁入門教室」では、同伴保護者の方々の参加が100名を超える大盛況となりました。「囲碁はむずかしいゲームではありません・子どもから大人まで世界中の誰とでも楽しめるゲームです・始める時はお願いします・終わる時は有難うございました、とあいさつし礼儀をつくす・白と黒を順番に打つ・相手の石を囲うと取れる・

囲った陣地の多い方が勝ちとなる・等々…。女性棋士先生方の優しく丁寧な指導に聴き入る子どもたちはもとより、熱心に聴き入る同伴保護者大人たちの姿が印象的でした。

子ども名人戦「Aクラス」では、今回の参加者は1級から5段取得者で、小学生としてはハイクラスの参加者となりました。第1回戦、第2回戦、優勝決定戦、そして第3位決定戦と熱戦が展開されました。やはり、子どもたち小学生は元気ですね。通常よりかなり短時間の30分で決着、でも真剣勝負そのものでした。

Bクラスでは、5級から初心者クラス 15 級くらいまでの参加者で、緊張した表情の子どもたちも多く、プロ棋士先生たちの見守る中で対局開始。こちらも30分以内に決着とやはり元気イッパイでした。

Cクラスでは、20級から30級と初心者ばかりの参加のため、初心者用の13路盤での対局でしたが、付き添いの保護者が心配そうに見守る中で対局開始となりました。囲碁の面白さが分かり始めた頃かなと、お互いにミスをしながらの対局に私自身が懐かしさを感じた次第です。

すべての競技が終了し、午後3時50分から表彰式が行われました。入賞された児童の皆さん、おめでとう。これからも頑張りましょうね

最後に、囲碁関係のグッズや山田規三生九段の著書などが当たる「お楽しみ抽選会」が行われ、賞品を手にした児童たちの笑顔が印象的でした。

当クラブでは、東アジアで生まれ今では広く世界各国で親しまれている囲碁の魅力を若い世代に伝えるべく、「子ども囲碁フェスタ・堺」をこれからも末長く続けることを約束して幕を閉じました。

◇ Aクラス 入賞者

優勝 佐竹 宗一郎 君 (小学4年生)
準優勝 佐藤 史郎 君 (小学6年生)
3位賞 福原 通仁 君 (小学4年生)



◇ Bクラス 入賞者

優勝 小山 翔大 君 (小学1年生)
準優勝 池上 琴音 さん (小学4年生)
3位賞 中川 真太郎 君 (小学3年生)



◇ Cクラス 入賞者

優勝 半田 潤 君 (小学6年生)

準優勝 半田 渉 君 (小学6年生)

3位賞 隅谷 慧俊 君 (小学1年生)



子ども入門教室の一コマ その1



子ども入門教室の一コマ その2



その他

「3委員会 合同委員会会議 開催のご案内」

国際奉仕委員長 嶽盛 和三

社会奉仕委員長 中田 学

35周年記念事業準備委員長 堀畑 好秀

晩秋の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃は大変お世話になっております。

さて、下記の通り3委員会 合同委員会会議を開催いたしますので、皆様ご出席頂けますようお願い申し上げます。

記

日時 : 平成26年12月5日(金) 18:30~

場所 : すし亭 幹

以上

S A A 報告

堀畑好秀会員 阪南倉庫が創業100周年を飾る事が出来ました。社員と共に慶びを分かちました。

池田茂雄会員 皆出席の表彰をしていただきました。有難うございます。
中田 学会員 日曜日、囲碁フェスタ休みます。宜しくお願ひします。
笹山会員卓話最後まで聞けません。すみません。
中川 澄会員 先日、シェラトン都ホテル大阪に忘年家族例会の試食会に行ってきました。
フレンチチャイニーズ、おいしいです！皆様ご家族お誘ひ合わせの上、
ご参加下さい。
畑中一辰会員 9日間糖尿で入院していました。血糖値も90～100に落ち着きました。
御迷惑おかけしました。来週も展示会で出席出来ません。すみません。
計 25,000円

幹事報告

(1) 幹事報告

・特になし

(2) 他クラブ例会変更のお知らせ

・堺南ロータリークラブ

12月15日(月)→12月14日(日)17:00～ 忘年親睦家族会
於いて、アゴーラリージェンシー堺

12月29日(月)→定款第6条第1節により 休会

・堺清陵ロータリークラブ

12月18日(木)→同日18時～「天王殿」忘年親睦家族会

12月25日(木)→定款第6条第1節により 休会

・堺泉ヶ丘ロータリークラブ

12月9日(火)→12月13日(土)18:00～ クリスマス家族例会
於いて、大阪マリオット都ホテル

12月30日(火)→定款第6条第1節により 休会